不正防止対策の基本方針

平成28年4 月1 日

公益財団法人山階鳥類研究所

理事長　壬生基博

公的研究費の使用については国の科学技術振興体制への国民の信頼を傷つけるようなことがあってはならない。この基本認識に基づき当法人は、公的研究費を適正に管理・運営し、それに係る不正行為と不正使用の可能性を除去することを宣言し、不正防止対策の基本方針とする。

当法人は日本で最大の鳥類に関する専門研究機関として、前身の山階家鳥類標本館の設立（1932 年）以来、一貫して日本の鳥類学研究を支えてきた。その業績は世界的にも高く評価されている。創設者故山階芳麿博士の志を継ぎ、鳥類学をとおして未来の地球環境の保全に貢献しつづけるためにも、不正を防止することが肝要である。

具体的には、「公的研究費管理・監査規程」をはじめとする関連規程を整備し、全所員がそれらを遵守することを基本方針とする。

以上